

Minami Kyushu University Syllabus						
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		都城キャンパス		
科目名称	造園計画特別演習			実務経験	○	Active・L ○
科目コード	642523	単位数	8単位	学位授与方針との関連	DP1	
教員氏名	関西 剛康					
授業概要	<p>具体的な地域の緑地環境・公園計画・地域計画・住民参加型によるまちづくり等のランドスケープ環境や、庭園文化やその利用などの中から課題を設定し、実際に学術的観点から調査・構想・計画・維持管理等の一連の高度な専門的知識と技術の修得を目指す。また実際に、地域住民・行政職員・NPO等の方々と交流を通じて、社会資本としての造園計画の重要性を認識し、高度な社会性を身につけて、修士論文の作成能力を養う。</p> <p>教員は、技術士（総合技術監理部門、建設部門〔都市及び地方計画〕）や登録ランドスケープアーキテクト（RLA）等の有資格者であり、実務として造園コンサルタントの設計事務所等で20年にわたって国内外の100件を超える都市公園や庭園プロジェクトに参画したキャリアを有する。また、教員は文化庁文化審議会専門委員、宮崎県美しい宮崎づくり推進有識者会議議長、宮崎県景観まちづくりアドバイザー、宮崎市花のまちづくりコンクール審査委員長、宮崎グリーンインフラ研究会会長などの職務経験も豊富である。授業では、実際に計画設計したランドスケープや先進事例を紹介しながら行う。</p>					
関連する科目	本授業の履修と同時に東洋庭園学特論Ⅰ・Ⅱ、造園計画特論Ⅰ・Ⅱを受講することが望ましい。					
授業の方法と進め方	<p>基本的に授業は、アクティブラーニング方式によって実施する。 毎回の授業構成は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業前半は、講義を行う【学術・知識のインプット】 2. 授業後半は、グループ学習・ディスカッションや課題発表（問題解決学習・プレゼンテーション）等を行う【学術・知識の醸成とアウトプット】 					
授業計画	<p>【第1期：M1前期】 第1回：ガイダンス（造園計画特別演習の学期内予定の計画概要の説明と心得について） 第2回：Chapter-1 修士論文の目的設定（研究目的について学ぶ） 第3回：Chapter-1 修士論文の目的設定（研究目的の検証について学ぶ） 第4回：Chapter-1 修士論文の目的設定（研究目的の整理について学ぶ） 第5回：Chapter-1 修士論文の目的設定（研究目的の立案について学ぶ） 第6回：Chapter-1 修士論文の目的設定（研究対象の精査について学ぶ） 第7回：Chapter-1 修士論文の目的設定（研究対象の確定について学ぶ） 第8回：Chapter-2 修士論文の基礎研究（研究方針の検討について学ぶ） 第9回：Chapter-2 修士論文の基礎研究（研究内容の手法について学ぶ） 第10回：Chapter-2 修士論文の基礎研究（先行研究について学ぶ） 第11回：Chapter-2 修士論文の基礎研究（先行研究の収集-1について学ぶ） 第12回：Chapter-2 修士論文の基礎研究（先行研究の収集-2について学ぶ） 第13回：Chapter-2 修士論文の基礎研究（先行研究の収集-3について学ぶ） 第14回：Chapter-2 修士論文の基礎研究（先行研究のまとめについて学ぶ） 第15回：学期末中間締め（研究論文の中間締めと今後の研究計画について学ぶ）</p> <p>【第2期：M1後期】 第16回：ガイダンス（造園計画特別演習の学期内予定の計画概要の説明と心得について） 第17回：Chapter-3 修士論文の現地調査（調査研究の実施-1について学ぶ） 第18回：Chapter-3 修士論文の現地調査（調査研究の実施-2について学ぶ） 第19回：Chapter-3 修士論文の現地調査（調査研究の実施-3について学ぶ） 第20回：Chapter-3 修士論文の現地調査（調査研究の実施-4について学ぶ） 第21回：Chapter-3 修士論文の現地調査（調査研究の実施-5について学ぶ） 第22回：Chapter-3 修士論文の現地調査（調査研究の実施-6について学ぶ） 第23回：Chapter-4 調査データと資料の集計と解析（調査データと資料の集計-1について学ぶ） 第24回：Chapter-4 調査データと資料の集計と解析（調査データと資料の集計-2について学ぶ） 第25回：Chapter-4 調査データと資料の集計と解析（調査データと資料の集計-3について学ぶ） 第26回：Chapter-4 調査データと資料の集計と解析（調査データと資料の集計-4について学ぶ） 第27回：Chapter-4 調査データと資料の集計と解析（調査データと資料の集計-5について学ぶ） 第28回：Chapter-4 調査データと資料の集計と解析（調査データと資料の集計-6について学ぶ） 第29回：学期末中間締め（中間発表（プレゼンテーション）を行う） 第30回：年度末中間締め（研究論文の中間締めと今後の研究計画について学ぶ）</p> <p>【第3期：M2前期】 第31回：ガイダンス（造園計画特別演習の学期内予定の計画概要の説明と心得について） 第32回：Chapter-5 研究論文の根拠の検証（調査データの取り纏め-1について学ぶ） 第33回：Chapter-5 研究論文の根拠の検証（調査データの取り纏め-2について学ぶ） 第34回：Chapter-5 研究論文の根拠の検証（調査データの取り纏め-3について学ぶ） 第35回：Chapter-5 研究論文の根拠の検証（調査データの取り纏め-4について学ぶ） 第36回：Chapter-5 研究論文の根拠の検証（調査データの取り纏め-5について学ぶ）</p>					
授業の達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 造園計画に必要な理論や技術を習得すること【基礎的知識の習得】 2. 実際の現場での課題に対して、解決策を提案する能力を身につけること【専門力の育成】 3. 独自の視点から問題を分析し、解決策を検討する能力を身につけること【専門力の育成】 4. 社会課題に取り組むことで、研究力や問題解決能力を高めること【自己管理能力・生涯学習力】 5. 専攻する修士論文について、先行研究の把握、研究目的、研究方法、考察（結論）を十分考慮して完成できる能力を目標としている【自己管理能力・生涯学習力】 					
授業時間外の学修	<p>〈予習〉 1. 授業で配布する学術論文や資料等を授業前に精読すること。 2. 大学院の授業であるため、事前に参考となる研究資料を準備しておくこと。 3. 予習は1時間程度行うこと。</p> <p>〈復習〉 1. 授業後にさらに理解を深めるために学術論文や資料等を再度精読すること。 2. 復習は1時間程度行うこと。</p>					
課題に対するフィードバック	レポートは評価後、返却期間をもうけて返却ならびに解説をします。	評価方法・基準		発表・研究した内容に関するレポート（100点）		
テキスト	テキストは使用しないが、その代わりに適宜プリント資料を配布する。					

参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 造園計画に必要な理論や技術を習得すること【基礎的知識の習得】 2. 実際の現場での課題に対して、解決策を提案する能力を身につけること【専門力の育成】 3. 独自の視点から問題を分析し、解決策を検討する能力を身につけること【専門力の育成】 4. 社会課題に取り組むことで、研究力や問題解決能力を高めること【自己管理能力・生涯学習力】
備考	<p>造園計画研究室（関西研）における研究領域の概要は以下の通りである。まずは、SDGs（持続可能な開発目標）を基本に、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりを進める「グリーンインフラ」の視点に立ち、地域活性化や持続可能な都市経営を考えたランドスケープについて研究している。例えば、地域の課題解決型をテーマに、実際にフィールドワークによって現状の課題</p>